

優秀賞

あしたはなんにしよっかな

鹿児島県 始良市立加治木小学校二年 亀澤 香穂

わたしは、みそしるがにが手です。おわんからのぼるあのおい。しるをのみおわる時、おわんのそここのころこな。おかあさんが、いろんなぐでくふうするけど、みそしるはいつもごはんのさいご。まいあさみそしるを見てわたしは、「また、がんばってたべるのか」と思います。

「かほ、あしたのあさのおみそしる、いっしょにくってみる。」

おかあさんが言いました。

「うん。」

とこたえたけど、こころの中では、「みそしるかあにが手なんだけどな」と思っていました。すると、「あした、はたけでやさいをとって、みそしるに入れてみたら。」

と、おとうさんが言いました。とれたてのやさいをつかってじぶんでつくるみそしる。おいしいかもし

れないな。わたしはなんだかわくわくして、あさがくるのがまちどおしくなりました。

わたしのうちでは、にわのはたけにやさいをうえています。夏はミニトマト、キュウリ、ニガウリ、ナス、オクラ、シントウ、ふゆはだいこん、にんじん、たまねぎ、ほうれん草、春ぎく、はくさいなどです。かぞくみんなではたけのおせわをします。夏は草が多いのでとても大へんです。あせまみれになつて草とりをがんばります。

「うわあ。おいしそう。」

大きくそだったやさいをしゅうかくするのもかぞくみんなのたのしみです。

パチン。ハサミでみそしるに入れるナスをしゅうかくします。形はくねっとまがっているけど、きみどり色の太っちゃナス。オクラもきれいなみどり色で、小さなひげがたくさん生えています。

「りっぱなナスとオクラだね。さっそく切ってもらおうかな。」
とおかあさん。

まず、まないたの上にナスをのせてはん分に切り、かわをむきます。つぎに、なべに切ったやさいを入れます。ナスとオクラは、ポクンといういて、なべの中でおどっているようです。そのあとだしを入れて、さいごにみそをこします。みそをとり出すと、はなにつんとくるにおいがしました。いつもはいやなおいだけど、きょうはなんだかいにおいです。おいしくなあれ。おいしくなあれ。そう思いながら、みそをときます。

「できあがり。」
はじめてじぶんでつくったおみそしるのかんせいです。

「どれ、うん、おいしいよ。」
おかあさんがそう言いながら、頭をなでてくれました。きょうのあさごはんはおみそしるからたべよう。ずずうっとすすったおしるはいつものおみそしるとはなんだがちがいます。
「ああ、おいしかった。」
わたしのおわんは空っぽです。みそしるにまほうが



かかったみたい。
さあて、あしたのみそしるのぐはなんにしようかな。はたけにはきょうもたくさんのやさいがみついています。